

2025年10月6日

公益社団法人 大阪自然環境保全協会

自然体験イベント事故情報

事故名	送迎バスが道路ハンプに乗り上げた衝撃で骨折	被災者	年齢 40歳代	性別 男性
事故状況	<p>発生日時 2025年 9月 27日 (土) 9時50分頃</p> <p>発生場所 公園・里山・海・川・渓谷・その他（送迎バス内）</p> <p>事故状況（何をして、どのように、どうなった） 駅から活動場所へ向かう送迎バスの車内で、最前列に座り、左脚を上にして脚を組んでいた。道路に設置されているハンプ(減速のための道路上の凸部)にバスが乗り上げた衝撃で、座席前方の壁に左脚が挟まれ、足首が逆方向に曲がってしまった。</p>			
事故処置	<p>誰が、どのように処置 当初は骨折に気付かず特段の処置は行わなかった。イベント終了後、痛みが引かないため、被災者本人が自力で病院に向かう受診した。</p> <p>ケガの部位・症状 左足のくるぶし付近を骨折。9月30日から2週間ほど入院し、10月1日に手術でプレートを挿入した。プレートを外すまでに一年程度かかる見込みである。</p> <p>推定原因と再発防止策は（分かる範囲で記入下さい） ハンプが設置されている道路であり、バスが減速して走行していれば防げた可能性は高い。事故発生場所だけでなく、本件の活動地に向かうまでの道路は凹凸のある悪路が多いことから、バス会社および運転手には、危険が予見される箇所では特に気を付けて減速してほしい旨を事前に伝えることが考えられる。</p>			
総務部会コメント	○再発防止策で書かれているように、バス会社に道路の状況を事前に伝えるとよい。また、十分に安全対策ができるバス会社に依頼することも必要である。今回の事故の原因ではないが、参加者にも「走行中は席を立たないこと」「シートベルトを締めること」等の安全なバス乗車のための呼びかけを行うとよい。			